



DDL-1675XB・1675XW  
2005XB・2005XW  
2292XB・2292XW

屋内  
M形  
天井埋込専用器具

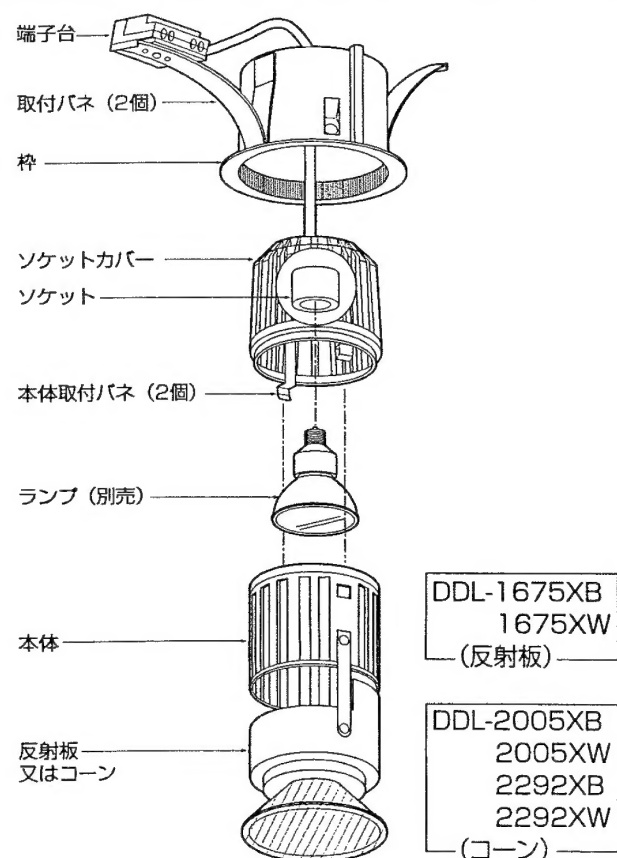
113-02-1675XBC

## 仕様

- 屋内天井埋込専用器具です。
- 取付バネ式です。
- 断熱施工不可です。

|               |   |
|---------------|---|
| 品番            | DDL-1675XB・1675XW<br>2005XB・2005XW<br>2292XB・2292XW |
| 電源電圧          | 100V  |
| 消費電力          | 43W   |
| 適合ランプ<br>(別売) | φ50ダイクロハロゲン球(前面ガラス付)<br>110V 50W×1灯 E-11            |
| 器具重量          | 約0.3kg  |
| 電源接続          | 端子台(送り可)(最大15A)                                     |

## 各部の名称



※上図は器具の一部を簡略化しています。  
※部は品番によりデザインが異なります。

## 付属部品 取付寸法



保護チューブ (4本)

埋込穴  
75

## 取付方法

### 1. 天井面の確認

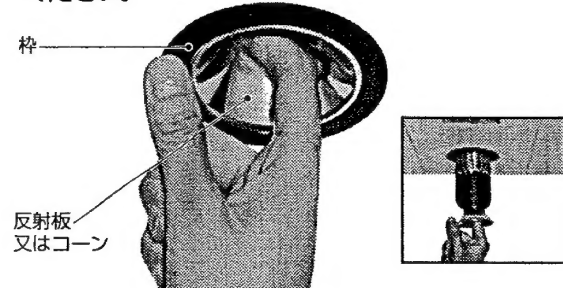
- 有効天井厚は、5～25mmです。

### 2. 天井面の開口

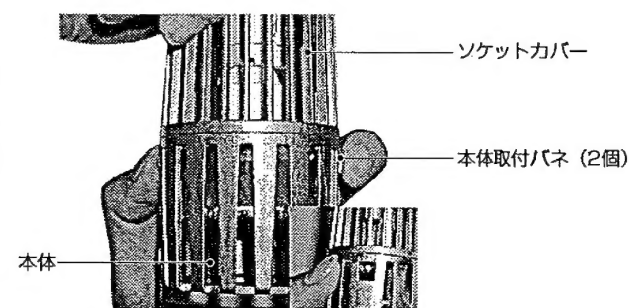
- 天井面の取付箇所に埋込穴(φ75mm)を開けてください。

### 3. 本体の取外し

- ①反射板又はコーンに指を引掛け枠から本体を引き出してください。

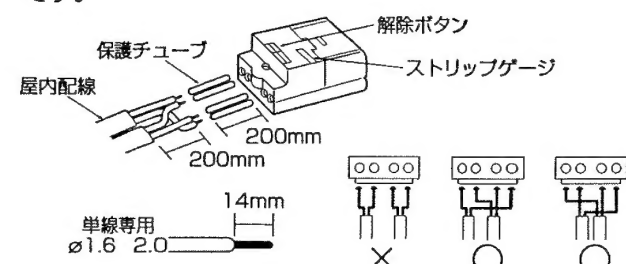


- ②本体取付バネ (2個) を指ではさみソケットカバーから本体を取外してください。



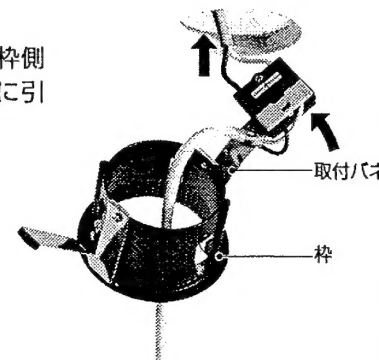
### 4. 電源の接続

- 屋内配線は適合電線をご使用ください。屋内配線はストリップゲージに合わせて、指定の長さに段むきしてください。
- 端子台に屋内配線を結線する時、必ず付属の保護チューブ (4本) を使用してください。
- 屋内配線を挿入面に直角に、奥まで確実に差し込んでください。(一度引っ張り、接続の確認をしてください。) 屋内配線は器具から離して施工してください。送り配線は接続方法を確認の上接続してください。
- 屋内配線を外す場合は、必ず電源を切ってから、解除ボタンをドライバー等で押しなが引き抜いてください。
- 保護チューブは4本付属されています。2本は送り配線用です。

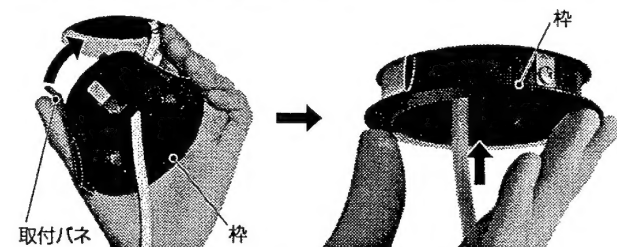


### 5. 枠の取付

- 端子台側の取付バネを枠側に押さえ込み、埋込穴に引っ掛けてください。



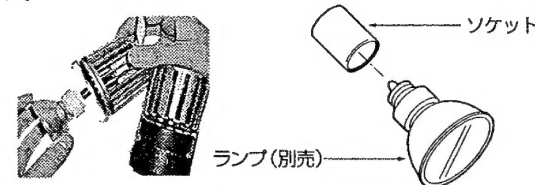
- もう片方の取付バネを枠側に押さえ込み、埋込穴に引っ掛けてください。
- 本体を押し上げて確実に埋込穴に取付けてください。



- 枠が確実に取付けられているか確認してください。
- 枠を取外す場合は、枠を引き下げて、取付バネを片方ずつ押さえて取外してください。

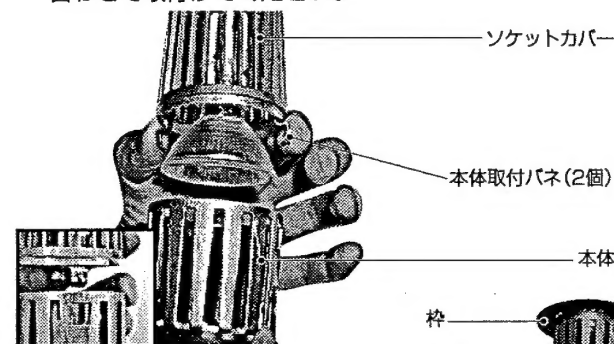
### 6. ランプの取付

- ランプ (別売) ソケットに合わせて確実にねじ込んでください。



### 7. 本体・ソケットカバーの取付

- ①ソケットカバーの本体取付バネ (2個) をはさみ本体に合わせて取付けてください。



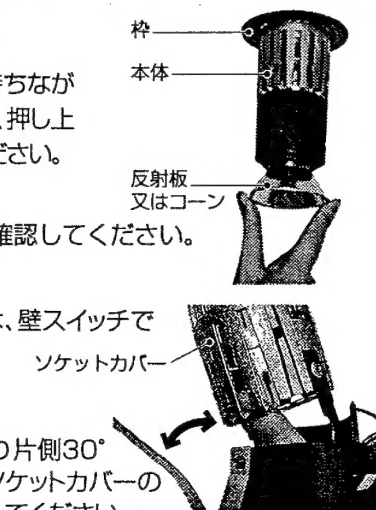
- ②反射板又はコーンを持ちながら本体を枠の中に入れ、押し上げて確実に取付けてください。

### 8. 使用前の確認

- 取付状態、点灯状態を確認してください。

### 9. ご使用方法

- 点灯、消灯および切替は、壁スイッチで操作してください。
- 可動範囲  
水平方向：320°  
垂直方向：直下方向より片側30°
- 照射方向を変える際はソケットカバーの内を指で押さえて操作してください。



## ご使用方法

- 点灯、消灯は、壁スイッチで操作してください。

## おことわり

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不十分だと、器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因になります。
- 器具に殺虫剤などをかけないでください。カバー、グローブ等の落下、変質・変色の原因になります。

## 保守・点検

- 1. 6カ月に1回程度、清掃及び点検を行うことをおすすめします。点検は、次の項目にもとづいて行ってください。

### (1)点検事項

- 正常に点灯しますか。
- スイッチは、正常に切替りますか。
- 天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタつき、ゆるみはありませんか。
- 可動部は異常なく動作しますか。
- 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ガラス、プラスチック部品等に、ヒビ、割れ変形などが発生していませんか。

※不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社もよりの支店にご相談ください。

### (2)清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりでなく、器具自体の寿命を短くします。

| 清掃箇所              | 清掃方法  |
|-------------------|---|
| 金属メッキ処理<br>金属塗装処理 | 傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。   |
| アクリル<br>プラスチック    | 30℃～40℃の薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いをしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く) |
| 木・竹・籐<br>布・和紙     | こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。  |
| ガラス               | 中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用し、スポンジ等で水洗いの後、自然乾燥してください。消しグローブは素手で触ると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。        |

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

### 2. 異常時の処理

定期点検により発見された不具合のうち、消耗部品(ランプ、電池等)、交換部品(パネル、パッキン等)は速やかに販売店、工事店にご相談のうえ、適合品と交換してください。また、安定器、配線部品等は定格電圧、常温、1日当たり10時間使用を想定した場合、約8～10年が交換の目安です。新規の器具と交換するか、または当社もよりの支店にご相談ください。

(裏面もご覧になって正しくご使用ください。)